

学校法人文化学園 川口文化服装専門学校

令和4年度学校関係者評価 報告書

川口文化服装専門学校 学校関係者評価委員会

令和5年9月

目次

1. 報告書骨子.....	1
2. 学校関係者評価委員	1
3. 学校関係者評価委員による自己評価への提言	2
3-1 教育理念・目標(専門課程・高等課程)	2
3-2 学校運営(専門課程・高等課程)	4
3-3 教育活動(専門課程・高等課程)	5
3-4 学修成果(専門課程・高等課程)	6
3-5 学生・生徒指導、支援(専門課程・高等課程)	7
3-6 教育環境(専門課程・高等課程)	9
3-7 学生の受入れ募集(専門課程・高等課程)	10
3-8 財務(専門課程・高等課程).....	11
3-9 法令等の遵守(専門課程・高等課程)	12
3-10 社会貢献・地域貢献、特別活動(専門課程・高等課程)	13
3-11 国際交流(専門課程).....	15
4. 学校関係者評価を受けて.....	16

1. 報告書骨子

学校関係者評価委員会(以下、当委員会)は、「川口文化服装専門学校 学校評価実施要綱」に基づき、項目別自己評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者により本校の学校運営・教育活動について検証・助言を得ることを目的として実施している。

当委員会の委員は外部委員のみで構成され、本校の教育理念を理解し、人材育成等に精通した学外の関係者の中から選考し、委嘱している委員構成は下記「2.学校関係者評価委員」に記載の通りである。

本報告書は、令和4年度の本校の取組みに対し当委員会としての評価・助言を得た内容をまとめ作成したものである。

本報告書の作成にあたり、当委員会の委員の方々にはお忙しいところご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

2. 学校関係者評価委員

評価実施者:委員4名(企業関係者2名、保護者・地域住民1名、有識者1名)

「学校関係者評価」評価方法について

令和4年度の学校関係者評価は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面により実施した評価方法は採点方式とし、適切な状態を4点、ほぼ適切な状態を3点、の順とし、不適切な状態を1点として評価をいただいた。

本資料においては、委員3名の平均評価点数を算出の上、小数第1位を四捨五入した点数を記載した。

配布資料:

- 1.川口文化服装専門学校 自己評価調査について 項目別の自己評価結果表
- 2.専門課程および高等課程 計画および報告
- 3.専門課程および高等課程 自己評価集計表
- 4.学校関係者評価記入シート

3. 学校関係者評価委員による自己評価への提言

令和4年度自己評価において、本校が設定している評価項目に対する委員からの提言は以下の通りである。

3-1 教育理念・目標(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

服装に関する技術教育・職業実践教育と併行して教養と創造性の育成、及び常に変化していく現代社会にあって、在り方・生き方を考え、主体的に行動し積極的に自己実現していくにふさわしい人材育成を教育理念としている。

専門課程2学科(服装科・服飾専攻科)、高等課1学科2コース(服装科 高校併修コース・洋裁コース)を設置しており、少人数クラス制のなかで各々が基礎から知識を学び「着たいもの」が「作れるもの」になる技術、及びクリエイターとしての感性を備えることで職業人・産業人として社会で能力を発揮できる人材を目指して教育を実施している。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 教育理念・目標 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員1)学校の理念や目的、将来構想に対して、学生たちが共感しているのか、学生たちの学ぶ姿勢との距離感があるように感じる。

(委員2)やや不適切な状態である

(委員3)昨年度に比べ、改善した点もあり、より特色を出して生徒募集などにつなげられることと
感じる。

(委員4)自己評価での特定の設問について、昨年よりも評価の向上が見られた。この状態が
継続することで、専門課程入学志望者の増加に繋がる可能性はある。

高等課程 教育理念・目標 平均評価:2点(やや不適切)

(委員 1)学校の理念や育成人材像は、学生、保護者に周知されて然るべきである。こうした情報は、学生募集時からしっかりと案内されるよう改善を望む。

(委員 2)やや不適切な状態である

(委員 3)教育理念がより活かされるべく、周知が求められる。

(委員 4)専門分野についての特性は明確だが、理念、目的等の周知度は低い印象を受ける。

3-2 学校運営(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

「大学等の修学の支援に関する法律」による修学支援の対象機関となる確認大学として認定されたことに伴い、これまで以上に広く学校情報を公開する環境の整備を見直す機会となった。法人として、規程の整備や情報公開に関する取組みには向上した点もみられるが、さらに改善の余地はある。また、意思決定に関しては教職員の意見交換の場をより積極的に設けることで学校運営の活性化へつなげていきたい。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 学校運営 平均評価:2点(やや不適切)

(委員1) 教員と学生との間に熱量の差があり、結果として教員側の原動力に影響していると感じる。計画や目標に対する結果や、成果を検証する機会を増やすと良いのではないか。

(委員2) やや不適切な状態である

(委員3) 昨年比、3項目で改善が見られ、教職員及び社会への適応がより進んでいると感じられる。

(委員4) 全体的に自己評価が低く、前年度からの改善もあまり見られなかった ICT化による業務効率の向上などを積極的に取り組んでいただきたい。

高等課程 学校運営 平均評価:2点(やや不適切)

(委員1) 昨年度からの改善はみられるが、不適切な項目が多いように感じる 教員の原動力につながる部分なので改善に期待する。

(委員2) やや不適切な状態である

(委員3) 改善が見られるが、より一層明確な規則、体制の整備が求められる。

(委員4) 専門課程と同様、教職員の自己評価が低い印象を受ける 教職員の働きに見合った評価体制が整備されているか気がかりである。

3-3 教育活動(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

基礎を重視した専門教育を土台として、「知識修得・実習」が体系づけられた学習を実践している。業界的にも進路実現のさらなる支援が必要であり、これまで以上に個々の学生の希望進路の実現にむすびつけられる職業実践教育の活性化が求められることから、資格取得にも積極的に取り組んでいる。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 教育活動 平均評価:2点(やや不適切)

(委員1)入学時の教育、人材育成計画および、学生側の学修意欲を継続させられているかが課題である。

(委員2)昨年度に比べ、いくつかの項目で改善が見られたのは良い傾向である。

(委員3)学校運営同様、多数の項目で改善が見られ、教職員の原動力の向上や、連携が進んでいることが感じられる。

(委員4)昨年比で向上している項目もあるが、付加価値の特色は薄い印象を受ける 教員のスキルアップ研修の機会なども増やしてもらいたい。

高等課程 教育活動 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員1)専門的要素の多い教育課題のため、より踏み込んだカリキュラムの策定、授業の実施など改善できると良い。

(委員2)やや不適切な状態である

(委員3)多くの分野で改善が見られるが、より一層の教育活動の充実のため、評価体制等の充実が望まれる。

(委員4)カリキュラムの改善、生徒対応と大変力を入れていることが伺える ただ、自己評価の結果を見るにまだ成長途中という印象を受ける。

3-4 学修成果(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

卒業生・在校生の進路相談等については個別に対応するなどしているが、留学生をはじめ希望の進路実現に難航している点は否めない。

ハローワークの講師をお招きして学生にセミナーを実施し、求人応募のアドバイスなど段階的にはあるが学生の進路実現に向けて尽力している。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 学修成果 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員1)就職率が上がっている点は大いに評価できる。一方で、退学率の低減が図られていない点は改善が必要と感じる。

(委員2)やや不適切な状態である

(委員3)大きな柱である就職率の改善が図られており、より良い環境となることが期待できる。

(委員4)就職率の向上、資格取得率の向上など、専門課程で学ぶ意義が感じられる。卒業後の活躍なども評価し、在校生、新規学生の意識向上に繋げてほしい。

高等課程 学修成果 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員1)昨年度比で改善されている項目がある中で、退学率が悪化している点が気になる。学生数も少ないので、貴重な日本の服装の将来を担う人材を失うことのないよう改善されることを切に望む。

(委員2)ほぼ適切な状態である

(委員3)大幅な改善が見られた。進学率、就職率を高めることで、翌年度以降の学校運営に寄与することと思われる。

(委員4)試験対策の取組が素晴らしい。退学率の低減策は難しい課題だが、ぜひ取り組んでいただきたい課題である。

3-5 学生・生徒指導、支援(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

「高等教育の修学支援新制度」に伴う給付奨学金や、日本学生支援機構の「留学生学習奨励費」等の公的な支援制度により、優秀であり経済的に不安がある世帯の学生の学習を経済面で支援できる体制を整える準備ができたことは、今後の学習支援に役立つと考える。

また、専門課程は留学生の人数の割合が高く、学費の支払い等経済面で苦労している学生に対しては学校として支払の猶予などを実施している。

しかし、留学生をはじめとした退学者・除籍者の主な原因は出席不足や学費未納などの理由が主であり、退学・除籍者数の減少のためにも生活面の支援体制の見直しが必要だと考えられる。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 学生支援 平均評価:4点(適切)

(委員1) 学生に寄り添った対応が整えられており、評価できる。その延長で、退学率の低減にも期待したい。

(委員2) 昨年度に比べ、すべての項目で改善が見られており、とても良い傾向である。

(委員3) 全項目で改善が図られ、学園全体で学生に対する支援が行われていることが見て取れる。

(委員4) 特定の項目については大幅な向上も見られ、良い傾向である。経済的な支援体制が整備されている点も、学生募集をする際のアピールになるのではないか。

高等課程 生徒指導等 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員1) 昨年度から大幅に改善されている。相談体制の整備や進路指導の支援が手厚くなり充実してきている。継続に期待する。

(委員2) 昨年度に比べ、いくつかの項目で改善が見られたのは良い傾向である。

(委員3) 大幅な改善が見られ、生徒への支援体制が整備されていることが伺える。

(委員4) 保護者が安心して通える体制が整備されており、とても良い傾向である。

高等課程 生徒支援 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員1)昨年度比、全項目で改善されているのは学校職員一丸となって取り組んだ証と感じる
引き続き生徒に寄り添った支援に期待する。

(委員2)ほぼ適切な状態である

(委員3)大きく改善され、生徒への支援体制が整ってきている。

(委員4)一流ブランドの衣裳展見学など、校外活動が魅力的で素晴らしい。課外活動に対する
取り組みは、今後もぜひ継続してほしい。

3-6 教育環境(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

施設の老朽化が著しい消防設備点検や耐震診断など、緊急時に備えた点検は実施しているが、修繕が必要な部分も多く改善を要する教室備品の老朽化や破損に伴う新規購入は担当教員と校長の相談の上、適切に整備している。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 教育環境 平均評価:2点(やや不適切)

(委員1)施設の老朽化が影響しているかと思うが、教育に適した環境の構築にも配慮していただきたい。

(委員2)やや不適切な状態である

(委員3)必要なものの整備が求められる

(委員4)施設の老朽化について致し方ない部分もあるが、教員、学生を守るためにも対策を講じていただきたい。

高等課程 教育環境 平均評価:2点(やや不適切)

(委員1)昨年度比全項目で改善も未だに改善が必要な点が見受けられ、施設の老朽化もあると思うが工夫して改善していただきたい。

(委員2)やや不適切な状態であるが、昨年度よりも評価は向上している。より一層の向上を願う。

(委員3)改善は見られるが、より安全面での充実は求められる。

(委員4)卒業後は就職を希望する生徒も多い環境だと思われる。校外実習、インターンシップなどの拡充を目指してほしい。

3-7 学生の受入れ募集(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

将来的な施設の建て替えを見据え、R4年度は新規学生、生徒の募集を停止した。
これに伴い、R4年度の学生等受入に関する学校関係者からの意見を求めなかった。

3-8 財務(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

収支計画の見通しを明確にすることが求められ、支出内容を見直しや財務基盤の安定・改善を図っていく必要がある。

財務情報については学内設置で公開可能ではあるが、広く公開するための環境については検討する必要がある。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 財務 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員1) 全体的に改善が見られ、評価できる。財務基盤の安定化にも期待したい。

(委員2) 昨年度に比べ、すべての項目で改善が見られており、とても良い傾向である。

(委員3) ほとんどの項目で改善が図られている。今後の運営に於いて、財務の強化は必須であるため、生徒募集を含めてより改善していくことが求められる。

(委員4) 比較的全項目で改善は見られているが、一昨年度の評価があまりにも低く、将来的な不安を覚える。

高等課程 財務 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員1) 全体的に改善が見られ、評価できる。財務基盤の安定化に期待したい。

(委員2) ほぼ適切な状態である

(委員3) 改善は見られるが、より健全な財務の充実が求められる。

(委員4) 財務基盤の安定には、新規生徒の募集は不可欠である。このためにも、学生及び教職員の健康、安全を守る学校運営を目指してほしい。

3-9 法令等の遵守(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

広報活動での SNS 活用など広く学校情報を展開する上で、学生・保護者と学校間での個人の作品の掲載等の承諾書の取り交わしを行い、個人情報保護の観点を重視した。

取組を実施しているまた、自己評価をもとにした具体的な改善には時間を要する点も多い。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 法令等の遵守 平均評価:4点(適切)

(委員1) 全体的な改善が見られ、評価できる。安全、安心な環境で教育を受けるためにも法令遵守は必須である 継続に期待したい。

(委員2) 昨年度に比べ、すべての項目で改善が見られており努力が伺える。

(委員3) 適切な体制が取られるようになってきていることが伺える

(委員4) 全体を通して、法令が遵守されていることが伺える。

高等課程 法令等の遵守 平均評価:4点(適切)

(委員1) 全体的に改善が見られ、評価できる。安全安心な教育現場を更に追及していただきたい。

(委員2) ほぼ適切な状態である

(委員3) コンプライアンスを含め、充実していることが伺える。

(委員4) 自己評価の実施や問題点の改善に取り組んでおり、良い傾向である。

3-10 社会貢献・地域貢献、特別活動(専門課程・高等課程)

【本校の現状】

家庭の所得状況や、一人暮らしの生活維持のために放課後にアルバイトをする必要がある学生が大半であり、ボランティア活動などをする学生が少ないのが現状である。

今後も学生に無理な負担がかからない範囲で、ボランティア活動や地域活動情報等の紹介を充実させるように努めたい。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 社会貢献・地域貢献 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員 1) 全体的な改善が見られ、評価できる。地域と共生する教育機関としての役割も果たせている。継続に期待したい。

(委員 2) 「コロナ禍」のなか、様々な工夫によりプラス評価となっており、大変な努力が伺える。

(委員 3) 全項目で改善が見られ、良い傾向である。

(委員 4) 幼稚園を併設しているという強みを生かし、地域貢献などの活動をより精力的に実施していただきたい。

高等課程 社会貢献・地域貢献 平均評価:3点(ほぼ適切)

(委員 1) 昨年度比で大幅な改善が見られ、評価したい。専門学校よりも、より地域との連携、共生が重要な商業専修課程のため、引き続きの対応をお願いしたい。

(委員 2) 「コロナ禍」のなか、様々な工夫によりプラス評価となっており、大変な努力が伺える。

(委員 3) 大幅な改善が見られる。より一層、地域との交流等を取り組んでほしい。

(委員 4) 幼稚園の併設を活かしたイベントの実施など、積極的に取り組んでいる様子が伺え良い傾向である。

高等課程 特別活動等 平均評価:2点(やや不適切)

(委員1)昨年度より改善されているものの、引き続き、その内容については不透明な部分があるため、より具体的な活動を行うことを望む。

(委員2)やや不適切な状態である

(委員3)全項目で改善が見られる、引き続きの取組を望む。

(委員4)あまり魅力があるとは言えない状態である。学校見学の対象年齢を引き下げてもてはどうか。

3-11 国際交流(専門課程)

【本校の現状】

東南アジア圏を中心に留学生を受け入れている語学力不足の学生もいるが、日本語の授業などで補助をしながら授業はすべて日本語で対応している。日本語能力検定の合格を目指し、日頃から自主的に学習する学生もおり、学校生活を通して日本語の修得に取組める環境づくりには今後も力を入れていきたい。

一方で、入学後に欠席が続くなど不安定な学生も少なくないため、より留学生の生活指導は徹底していく必要がある。

【学校関係者評価委員からの提言】

専門課程 国際交流 平均評価:2点(やや不適切)

(委員1) 留学生の受け入れを行っていることは評価できる。一方で、学生にとっての真の国際交流とは、ファッションの本場での学び、交流だと思われる。そのような機会を与えられる学校運営を目指してほしい。

(委員2) やや不適切な状態である

(委員3) 留学生については、在留外国籍者等のこともあると思われるため、学校単独ではなく行政や団体との連携も必要と思われる。

(委員4) 地域柄、外国人と触れ合う機会は多いと思われるため、そのような強みを活かしてみてはどうか。

4. 学校関係者評価を受けて

教職員へ実施した自己評価結果をもとに、外部委員の方々には学校運営および教育活動についてご意見を頂戴しましたこと感謝申し上げます。

様々な視点からの提言を頂戴したことで気づきを得ることができ、改めて外部評価の重要性を感じました。委員の方々からの提言から、早急に取り組むべき課題を精査し、職員会議等で学内にて共有し、次年度の改善目標とする予定です。

特に、学生募集や財政基盤の安定は急務であるため、より広い視野で具体的な対応策を検討したいと思います。また、自己評価、学校関係者評価においても継続して実施し、本学の教育環境のさらなる向上に努めていく所存です。